

# **STAR**

## スラリースプレッダ

取扱説明書・部品表

製品コード

K31225

**型 式**

**TSD12010**

部品供給型式

TSD12010-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

---

**スター農機株式会社**

# ⚠ 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、⚠ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### ⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### ⚠ 警告

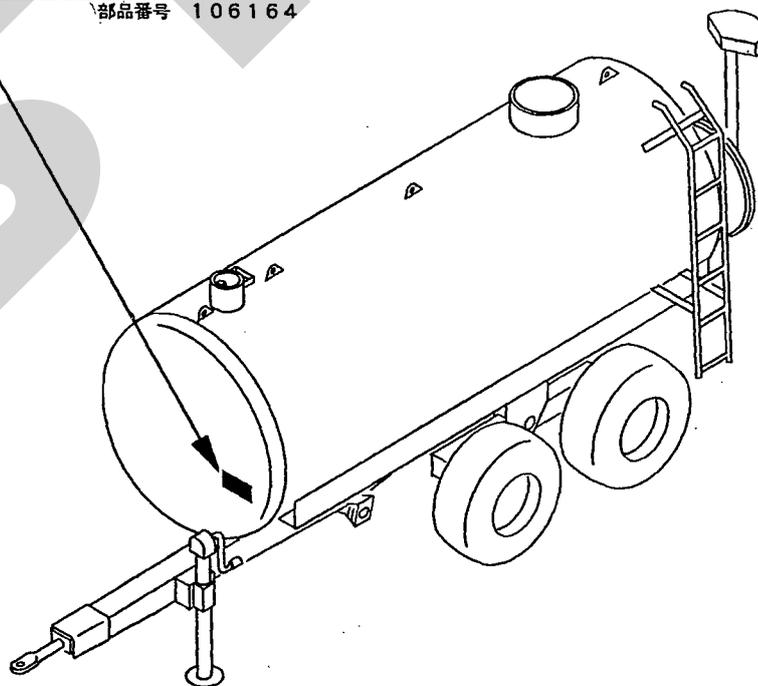
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### ⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

 <b>注意</b>	本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。
	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行ってください。</li><li>2. 酒を飲んだとき、疲労や病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。</li><li>3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。</li><li>4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。</li><li>5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。</li><li>6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。</li><li>7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。</li></ol>

部品番号 106164



### — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲注意

●機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。

取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲注意

●取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。

作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲警告

●体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲警告

●作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ヘルメットを着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

#### ▲警告

●機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲注意

●機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

#### ▲注意

●始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲警告

●エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行くと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

●エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

●急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

●室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け、十分に換気してください。

#### 作業機を着脱する時は

##### ▲警告

●作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の人に人が挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の人に人を近づけないでください。

##### ▲注意

●作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

●作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

●連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

#### 公道走行時は作業機の装着禁止

##### ▲注意

●トラクタに作業機を連結して公道を走行すると、道路運送車輛法に違反します。トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

#### 移動走行する時は

##### ▲危険

●移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

##### ▲警告

●トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人を乗せないでください。

●急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。急制動・急旋回はしないでください。

●坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。

●旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。周囲の人や障害物との間に十分な間隔を保ってください。

●側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。路肩は走行しないでください。

●高低差の大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。

●作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。作業機の上には人を乗せないでください。

●突出部を折りたたまずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。折りたたんで、移動させてください。

## 作業中は

### 作業する時は

#### ▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。作業機の上には人は乗せないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりにしてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。

#### ▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

### トラクタから離れる時は

#### ▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、輪止めをして暴走を防いでください。

## 作業が終わったら

### 機体を清掃する時は

#### ▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 終業点検の励行

#### ▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

### 不調処置・点検・整備をする時

#### ▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

# も く じ



## 安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	4
作業中は	4		

## 1

### トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	7	3 トラクタへの装着	8
2 適応トラクタの範囲	8	1. ドローバへの連結	8
		2. トラクタ油圧取出口との接続	8
		3. 電装の接続	8

## 2

### 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	9
1. トラクタ各部の点検	9	1. スラリースプレッタの電装が トラクタと正しく連動するか	9
2. 連結部の点検	9		
(1) ヒッチ部の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
(2) 電装コネクタの点検	9		
3. 製品本体の点検	9		

## 3

### 作業の仕方

1 本製品の使用目的	10	3 各部の調整	11
2 作業の種類	10	1. オープンハッチ	11
1. 注入作業	10	2. 輪止め	11
2. 排出作業	10		

## 4 作業が終わったら

- 1 作業後の手入れ ..... 11      2 長期格納する時 ..... 11

## 5 点検と整備について

- 1 点検整備一覧表 ..... 12      2 電球の交換 ..... 12

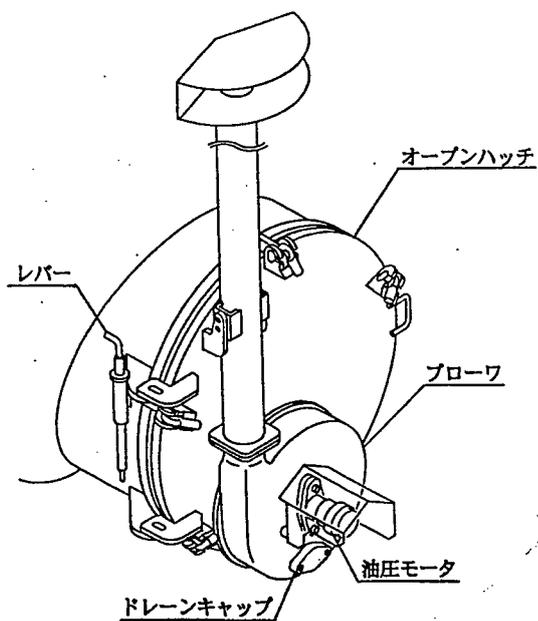
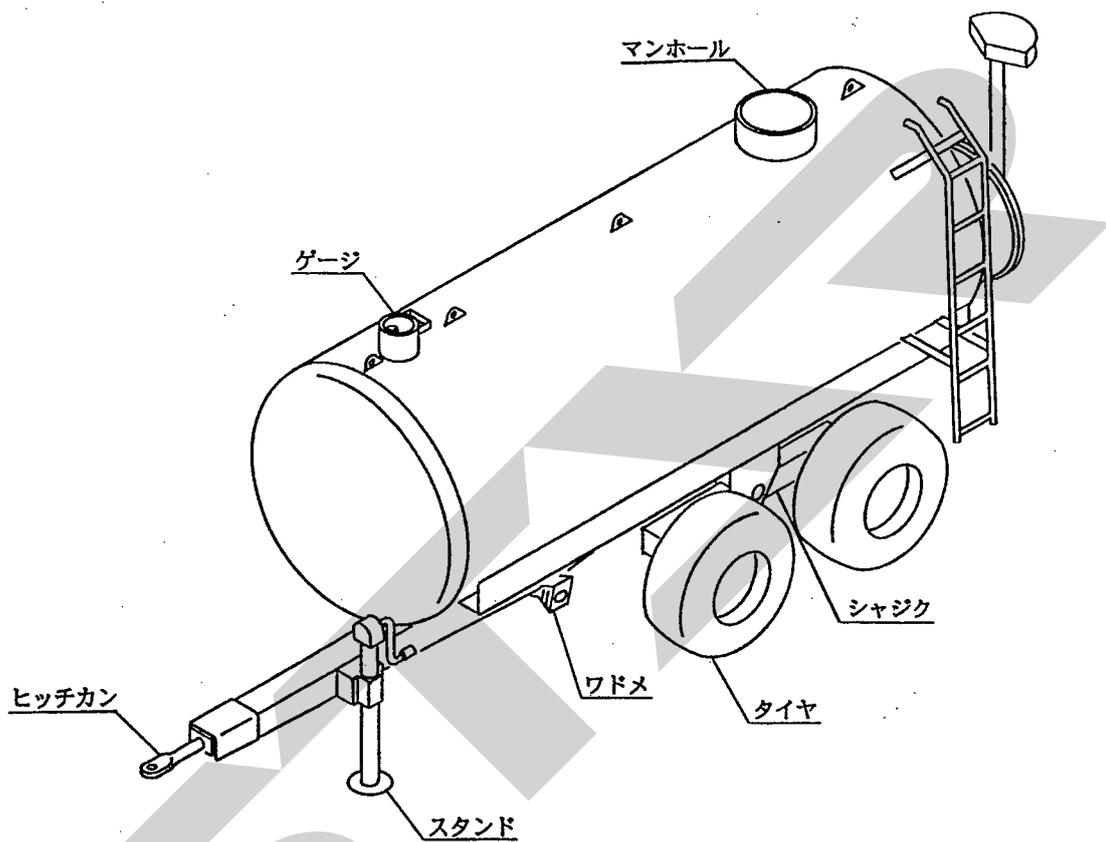
## 6 不調時の対応

- 1 不調処置一覧表 ..... 13

## 7 部品表 ..... 14

# 1 トラクタへの装着

## 1 各部の名称とはたらき



## 1. ヒッチカン

トラクタに連結し、けん引します。

## 2. スタンド

作業機をトラクタからははずしたときに使用します。

## 3. オープンハッチ

タンク後部のハッチ部分が開き、タンク内の点検や清掃ができます。

## 4. ゲージ

水や糞尿を注入したときの注油量の目安になります。

## 5. ブローワ

タンク後部には油圧モータ駆動の4枚羽根のブローワがあり、散布時にタンク内の水や糞尿を吹き上げます。

## 6. 油圧モータ

水や糞尿を散布するとき、ブローワの4枚羽根を駆動します。  
トラクタの複動外部油圧で行います。

## 7. マンホール

スラリーポンプ等を使用して、タンク上部から水や糞尿を注入するための注入口です。

## 8. ドレインキャップ

作業後タンクに残った水や糞尿を排出するときに使用します。

## 2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。  
この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

適応トラクタ kW (PS)
----------------

74 (100) 以上
-------------

## 3 トラクタへの装着

### 1. ドローバへの連結

#### ▲ 警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入っていると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に入らないでください。

#### ▲ 注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離すとき、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。  
切り離す時は、必ずスタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。  
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

- (1) トラクタのけん引ヒッチ高さに作業機のヒッチカン高さを合せます。(スタンドのハンドルで調整します。)
- (2) トラクタのエンジンを始動して、トラクタを後進させ、作業機のヒッチカンの穴に合わせエンジンをとめます。
- (3) トラクタに附属のヒッチピンを通して連結し、抜けだめにリンチピン等をヒッチピンに差ししてください。

#### 取扱い上の注意

ヒッチピンには抜止めのため、必ずリンチピンあるいはベータピンを確実に挿入してください。

- (4) トラクタとセットされたらスタンドを一番短い状態まで上げ、折りたたんでください。

### 2. トラクタ油圧取出口との接続

本作業機のブローワの駆動は、油圧仕様となっています。

- (1) トラクタの油圧取出口に間違いのないようカプラを接続してください。

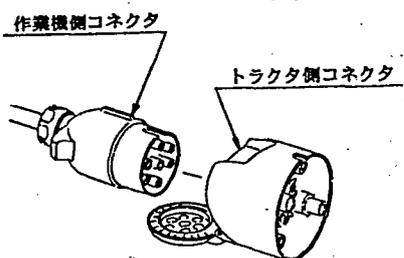
### 3. 電装の接続

#### 取扱い上の注意

トラクタに電装品の結線をする時、エンジンキーをOFFにしないで行うとショートする事があります。  
エンジンキーをOFFにして行ってください。

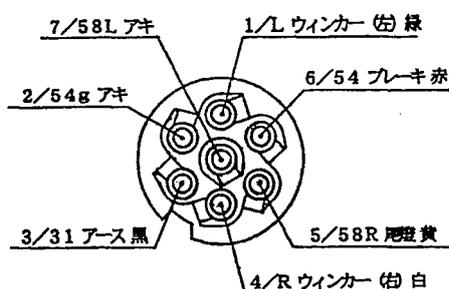
作業機にはトラクタと連動するテールランプを装備しています。

電装はトラクタとコネクタで接続します。

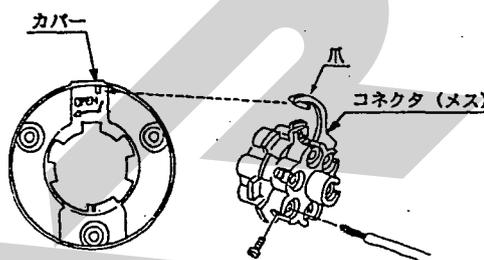


トラクタ側コネクタの電気配線が必要となります。

作業機の電気配線は下図の通りです。



- (1) トラクタ側コネクタのキャップを持ち上げ、作業機側コネクタから抜いてください。
- (2) トラクタ側コネクタの爪をはずし、反時計回りにまわすとコネクタがカバーからはずれません。
- (3) マイナス(-)ドライバーでネジを緩め、それぞれの端子にコードを配線し、締め付けてください。
- (4) 再度、カバーにはめ込み、時計回りにまわし、爪を掛けてください。



- (5) トラクタ側コネクタは作業機と連結したとき接続しやすい場所に取り付けてください。

## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

#### 2. 連結部の点検

##### (1) ヒッチ部の点検

- ① トラクタのけん引ヒッチと本作業機のヒッチカンの連結部点検。
- ② ヒッチピンにはリンチピン・ベータピン等の抜け止めが確実に挿入されているか。

##### (2) 電装コネクタの点検

- ① トラクタの電装コネクタと確実に接続されているか。
- ② 電装コードに余分なたるみはないか、また、適度な余裕があるか。

#### 3. 製品本体の点検

- (1) オープンハッチが完全に閉じられていることを確認します。

- (2) 各部のボルト・ナットのゆるみを確認します。
- (3) タイヤの空気圧を確認します。  
標準空気圧は次表を参照ください。

タイヤサイズ	空気圧
20.0/70-508-12PR	340kPa (3.5kgf/cm <sup>2</sup> )

### 2 エンジン始動での点検

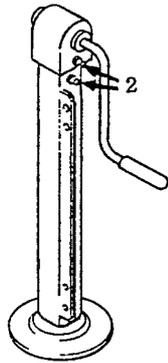
#### 1. スラリースプレッドの電装がトラクタと正しく連動するか

トラクタのブレーキ、ウィンカーの操作をして、スラリースプレッドのテールランプが正しく連動するか確認してください。

### 3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。

No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	給油量	備考
1	シャジク	2	グリース2号	使用毎	適量	給脂
2	スタンド	2	"	"	"	"



## 3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

### 1 本製品の使用目的

1. 本製品は、水、家畜の糞尿を散布する機械です。
2. 法的規制のある薬物、危険物の運搬、散布等には使用しないでください。

### 2 作業の種類

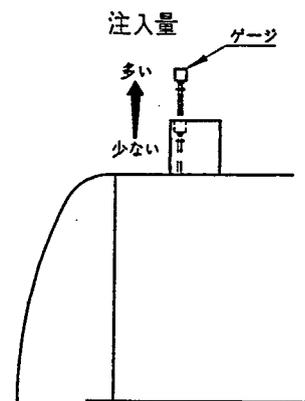
#### ▲ 警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。  
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりにしてください。

### 1. 注入作業

お手持ちのスラリーポンプ等を使用し、タンク後部のマンホールから注入してください。

- (1) 注入時はタンク上部のゲージを目安にして注入してください。



### 2. 排出作業

- (1) 走行と同時にトラクタの油圧レバーを操作し、油圧モータを回転させ散布してください。
- (2) 散布量は、トラクタの油圧流量とトラクタ速度によって異なります。  
ほ場条件等に合わせ適時選択してください。

(3) 糞尿に長ワラ等の異物が混入すると、ブローワ内に詰まり、散布巾が狭くなることがあります。

その場合トラクタの油圧レバーを操作し、油圧モータの回転を一瞬逆転させると、異物が排出され、正常な散布にもどります。

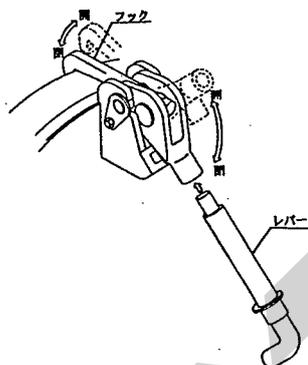
#### 取扱い上の注意

木片や石等の異物が混入するとブローワや油圧モータが破損することがあります。異物が混入しないようにしてください。

### 3 各部の調整

#### 1. オープンハッチ

(1) ハッチはタンク後部に備え付いているレバーでフックボルトを外して開きます。



(2) ハッチを閉じる時は各フックボルトが均等に締まるようにフックボルトの長さを調整して締めてください。

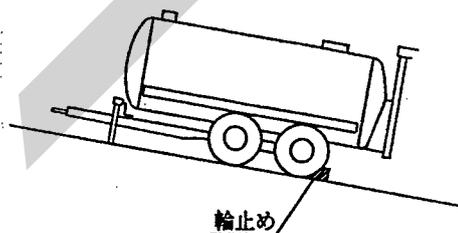
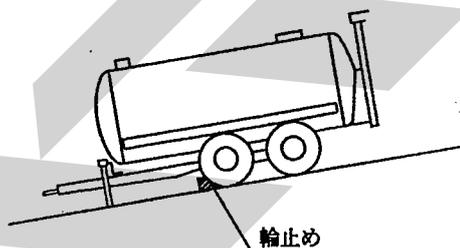
#### 2. 輪止め

(1) タンクの両サイドに輪止めが装備されています。

(2) 駐・停車は平坦な場所で行い、輪止めを使用してください。

(3) やむを得ず傾斜地に駐・停車する時は、図の要領で左右のタイヤに輪止めを使用し、作業機が動かないことを確認してください。

(4) 使用後は元の位置に収納してください。



## 4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

#### ▲ 注意

● 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

#### 1 作業後の手入れ

1. 使用後は、タンクを水洗いしてください。
2. ドレーンキャップをはずし、ブローワ内の水や糞尿を排出してください。
3. 冬期間、タンク内を凍結させないように注意してください。

4. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品はないか。

異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

#### 2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。また、回転、回動支点部には注油してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

## 5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

### 1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部油もれ ⑤各部の油脂類 ⑥タイヤ空気圧	補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 「2-1-3 製品本体の点検」に基づきチェック
シーズン終了後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④塗装損傷部	早めの部品交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 塗装または油塗布

### 2 電球の交換

テールランプの電球を交換する際はレンズを取り外して行います。

電球は当社推奨の規格を使用してください。

	定 格	スバル-品番(参考)
ウィンカー	12V 21W S25	BP4575B
尾 灯	12V 21W/5W S25	BP4575B
制 動 灯		

## 6 不調時の対応

### 1 不調処置一覧表

エンジンをとめてから処置してください。  
 トラブルが発生したら「6-1 不調処置一覧表」  
 に基づき処置してください。

#### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下でケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

症 状	原 因	処 置
オープンハッチ からの漏れ	①フック締付け不足 ②パッキン損傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フックをはずしフックボルトの長さ調整をし、再度締め直す</li> <li>• パッキン交換</li> </ul>
散布できない	①ブローワ内で異物が詰まっている ②油圧モータの破損 ③油圧カプラがきちんと接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブローワ内の清掃</li> <li>• 部品交換</li> <li>• 油圧カプラをきちんと接続する</li> </ul>

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製 品 名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製 造 番 号
4. 故 障 内 容 (できるだけ詳しく)

## 7 部 品 表

### 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式 (型式)
- ③部品名称 (部品表を参照してください。)
- ④部品番号 (部品表を参照してください。)
- ⑤個 数 (部品表を参照してください。)

※ 部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

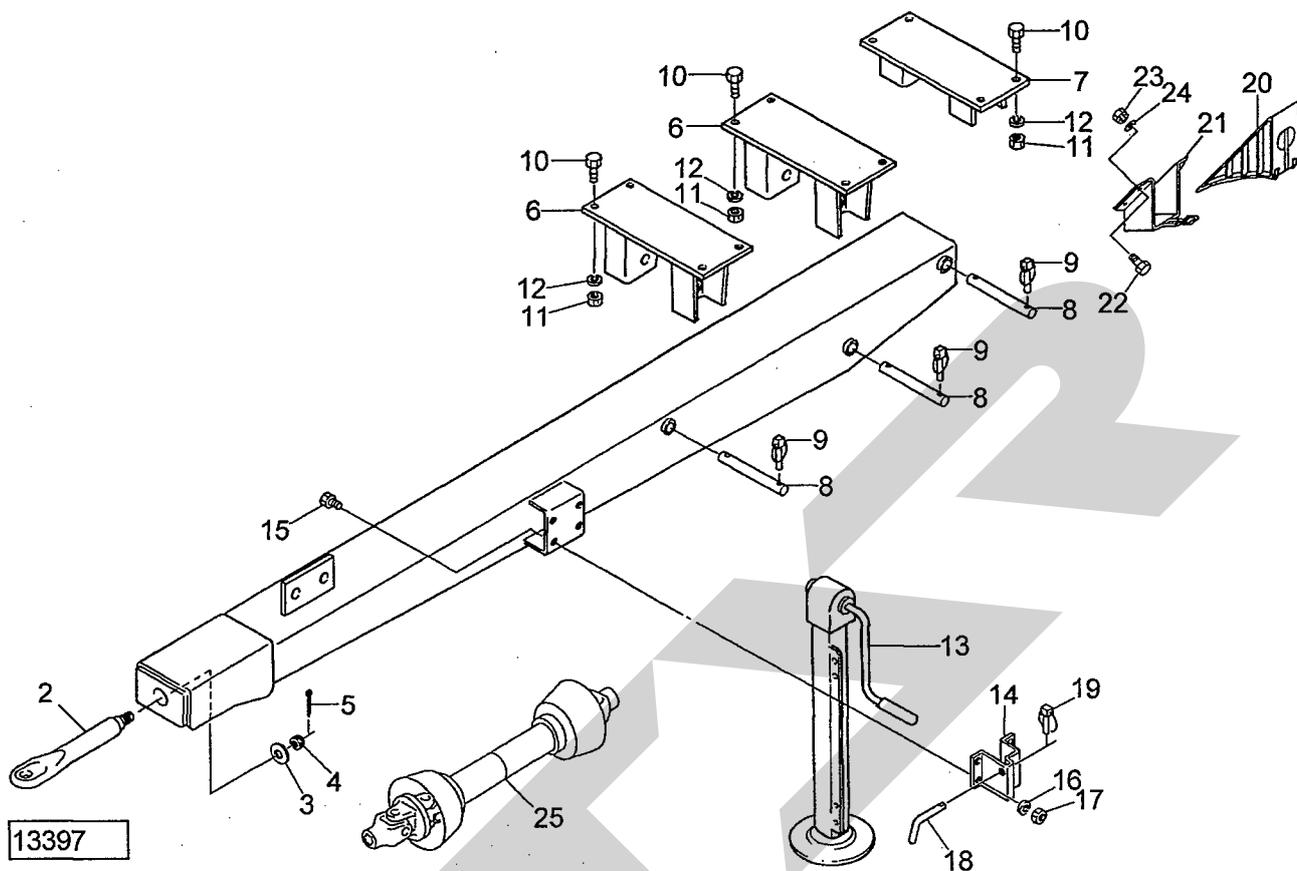
- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

### 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限 (期間) は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

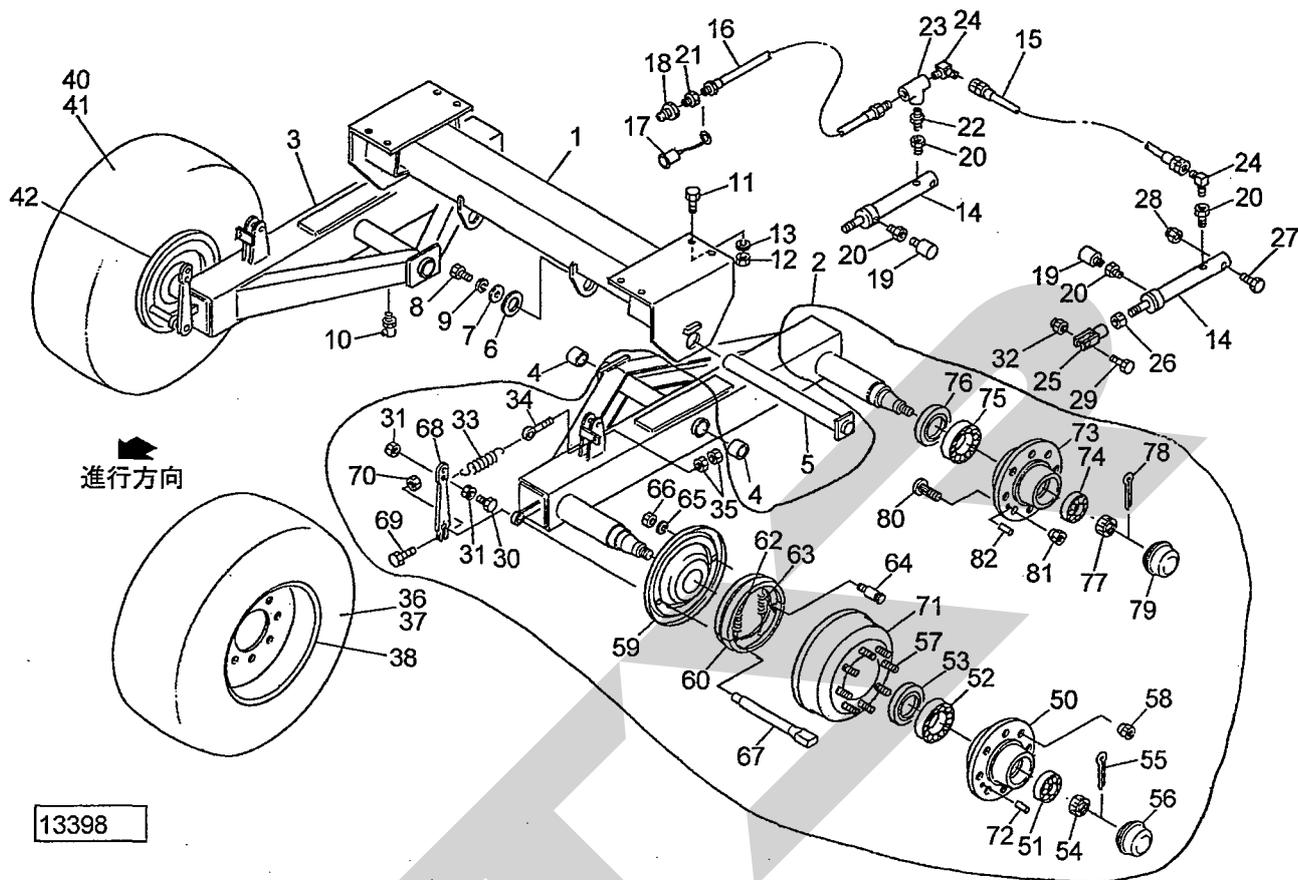
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

TSD12010 スラリースプレッダ  
ドローバ・スタンド



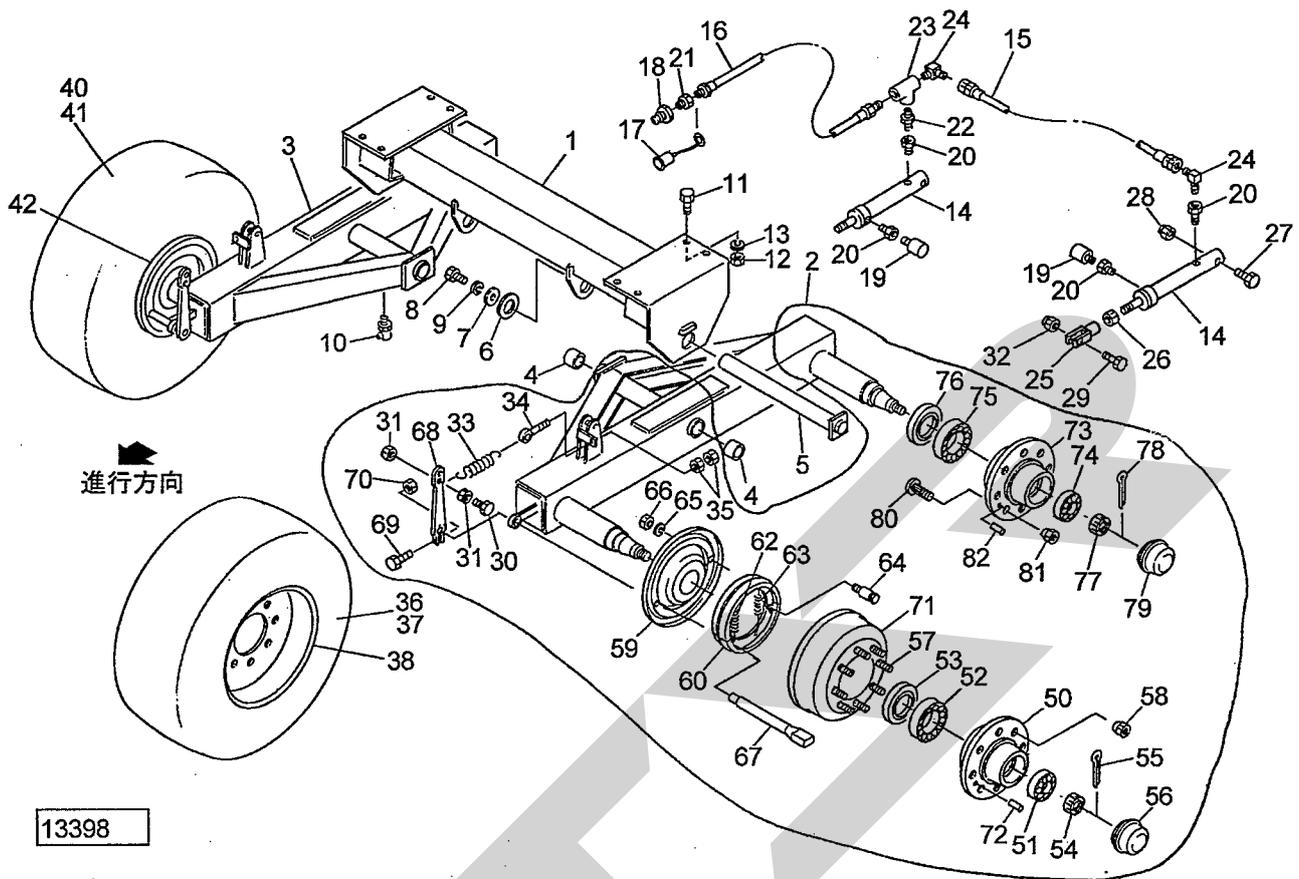
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
2	0906571004	ヒッチカン; φ60	1	
3	090658100M	プレート	1	
4	000714000M	キャッスルナット M36×1.5	1	
5	PC065055	ワリピン; 6.3×56	1	
6	1129400004	ブラケットCP	2	
7	1131700004	ブラケットCP	1	
8	113299100M	ピン; 35×310	3	
9	000739000M	リンチピン; 9	6	
10	BZ20060	ボルト 8.8 M20×60	12	
11	NZ20	ナット 8 2シュ M20	12	
12	WSA20	バネザガネ 3ゴウ M20	12	
13	1130750004	スタンドCP	1	
14	1130780004	ブラケットCP	1	
15	BZ12030	ボルト 8.8 M12×30	4	
16	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	4	
17	NZ12	ナット 8 2シュ M12	4	
18	044615100M	ウインドロゲージピン	1	
19	000739000M	リンチピン; 9	1	
20	102737100M	ホイールロック	2	
21	102889000M	キャリア	2	
22	BSZ08016	コガタボルト 7 M8×16	8	
23	NSP08	コガタスプリングナット 4 M8	8	
24	044097000M	ワッシャ; 8	8	

TSD12010 スラリースプレッダ  
シャジク・タイヤ・ブレーキ



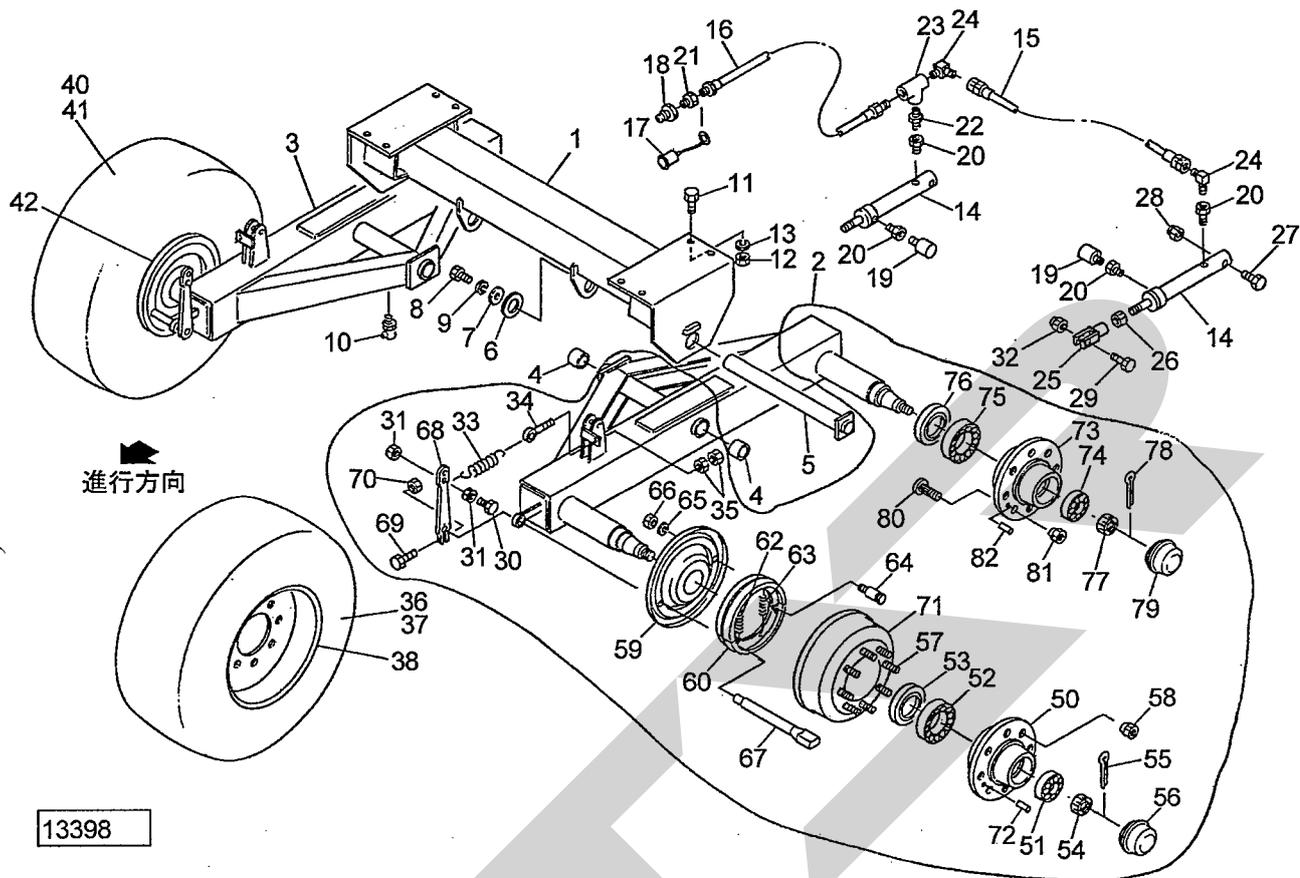
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1130690004	シャジクCP	1	
2	1131273004	ハブツキシャジクCP; 1300L	1	
3	1131373004	ハブツキシャジクCP; 1300R	1	
4	0730921000	メタル	4	
5	0754680004	ピンCP	2	
6	066208100M	ワッシャ; φ51	2	
7	064021100M	ワッシャ	2	
8	BZ16040	ボルト 8.8 M16×40	2	
9	WSA16	バネザガネ 3ゴウ M16	2	
10	ONBS1	グリースニップル B PT1/8	2	
11	BZ16055	ボルト 8.8 M16×55	8	
12	NZ16	ナット 8 2シュ M16	8	
13	WSA16	バネザガネ 3ゴウ M16	8	
14	1095651006	シリンダ; CWP20×80×173	2	
15	1132820000	ユアツホース; 1/4×1500	1	
16	1132830000	ユアツホース; 1/4×6300	1	
17	0007781000	カプラキャップ; 1/2	1	
18	CLF40M	カプラ オス PT1/2	1	
19	0005260000	エアブリーザ	2	
20	109611100M	ブッシング; PF1/8×PT1/4	4	
21	2081-08-04	ブッシング PT1/2×PT1/4	1	
22	2083-04	ニップル PT1/4	1	
23	2091-04	ティー PT1/4	1	
24	1033-04	ホースエルボ PT1/4×PF1/4	2	
25	113281000M	フォークエンドCP	2	

TSD12010 スラリースプレッダ  
シャジク・タイヤ・ブレーキ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	2	
27	BSZ10060	コガタボルト 7 M10×60	2	
28	NNF10	フランジナイロンナット M10	2	
29	BZ12050	ボルト 8.8 M12×50	2	
30	BX112060	ボルト 10.9 ゼン M12×60	2	
31	NZ12	ナット 8 2シュ M12	4	
32	NNF12	フランジナイロンナット M12	2	
33	082030000M	スプリング	2	
34	043341501M	スプリングステー	2	
35	NZ12	ナット 8 2シュ M12	4	
36	1130340000	タイヤ; 20.0/70-508 12PR	2	
37	1131750000	チューブ; 20.0/70-508	2	
38	1130350000	ホイール; 14×20.0	2	
39	1131570000	タイヤAS; 20.0/70-508 12PR L	2	㊦36~38組立品
40	1130340000	タイヤ; 20.0/70-508 12PR	2	
41	1131750000	チューブ; 20.0/70-508	2	
42	1130350000	ホイール; 14×20.0	2	
43	1133520000	タイヤAS; 20.0/70-508 12PR R	2	㊦40~42組立品
50	1131280020	ハブ	2	
51	J32211	テーパローラベアリング 32211	2	
52	J32215	テーパローラベアリング 32215	2	
53	1131280050	リチニングリンク	2	
54	1131280060	クラウンナット	2	
55	1131280070	スプリットピン	2	
56	1131280080	ハブキャップ	2	

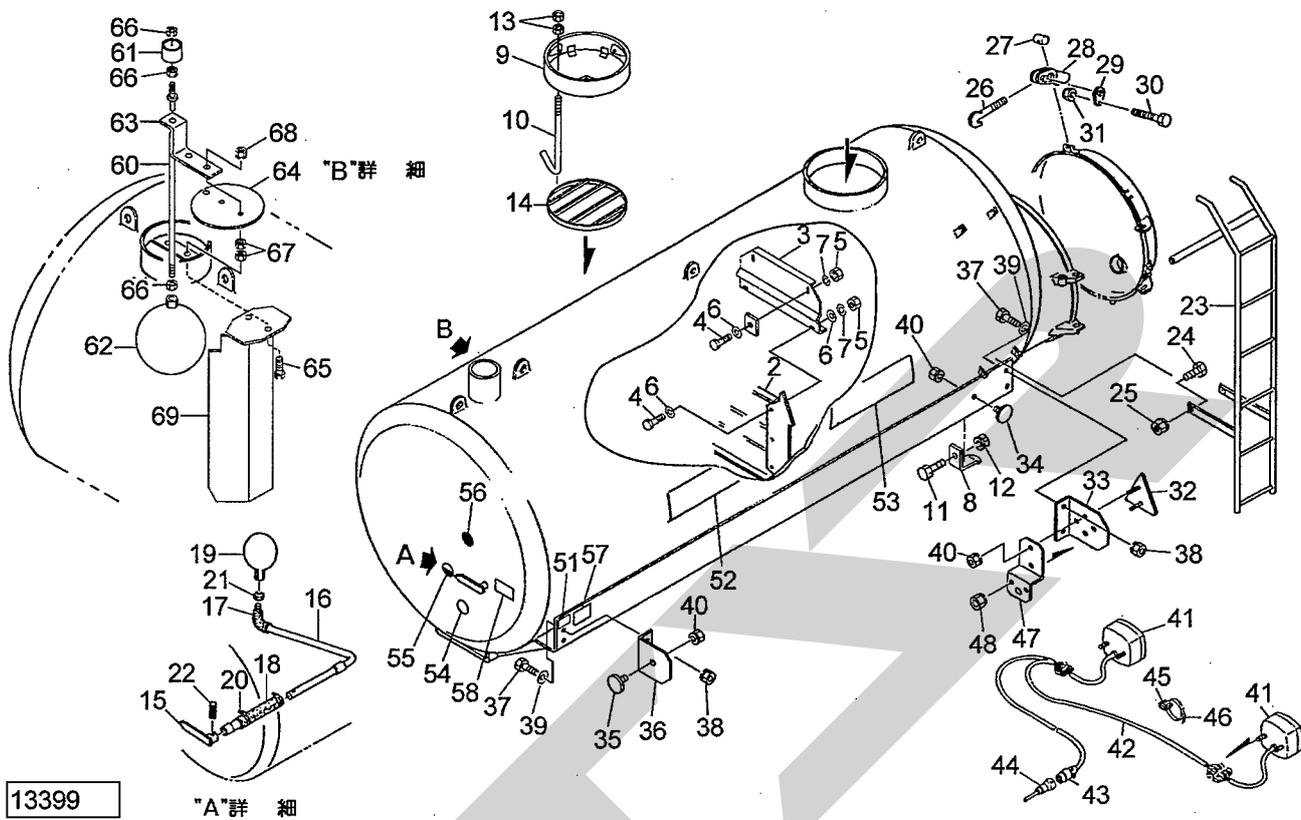
TSD12010 スラリースプレッダ  
 シヤジク・タイヤ・ブレーキ



13398

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
57	1131280090	ホイールスタッド; M18×1.5	16	
58	1131280100	ホイールナット; M18×1.5	16	
59	1131280110	ブレーキドラムバックプレート	2	
60	1131280120	ブレーキシュー	2	
64	1131280160	ブレーキシューアンカーピン	2	
65	1131280170	ワッシャ	2	
66	1131280180	アンカーピンナット	2	
67	1131280190	カムシャフト	2	
68	1131280200	ブレーキレバー	2	
69	1131280210	ボルト	2	
70	1131280220	ナット	2	
71	1131280240	ブレーキドラム	2	
72	1131280250	ドラムネイル	2	
73	1131520020	ハブ	2	
74	J32211	テーパローラベアリング 32211	2	
75	J32215	テーパローラベアリング 32215	2	
76	1131520050	リテンションリング	2	
77	1131520060	クラウンナット	2	
78	1131520070	スプリットピン	2	
79	1131520080	ハブキャップ	2	
80	1131520090	ホイールスタッド; M18×1.5	16	
81	1131520100	ホイールナット; M18×1.5	16	
82	1131520110	ドラムネイル	2	

TSD12010 スラリースプレッダ  
 タンク・ハッチ・ゲージ・ハシゴ



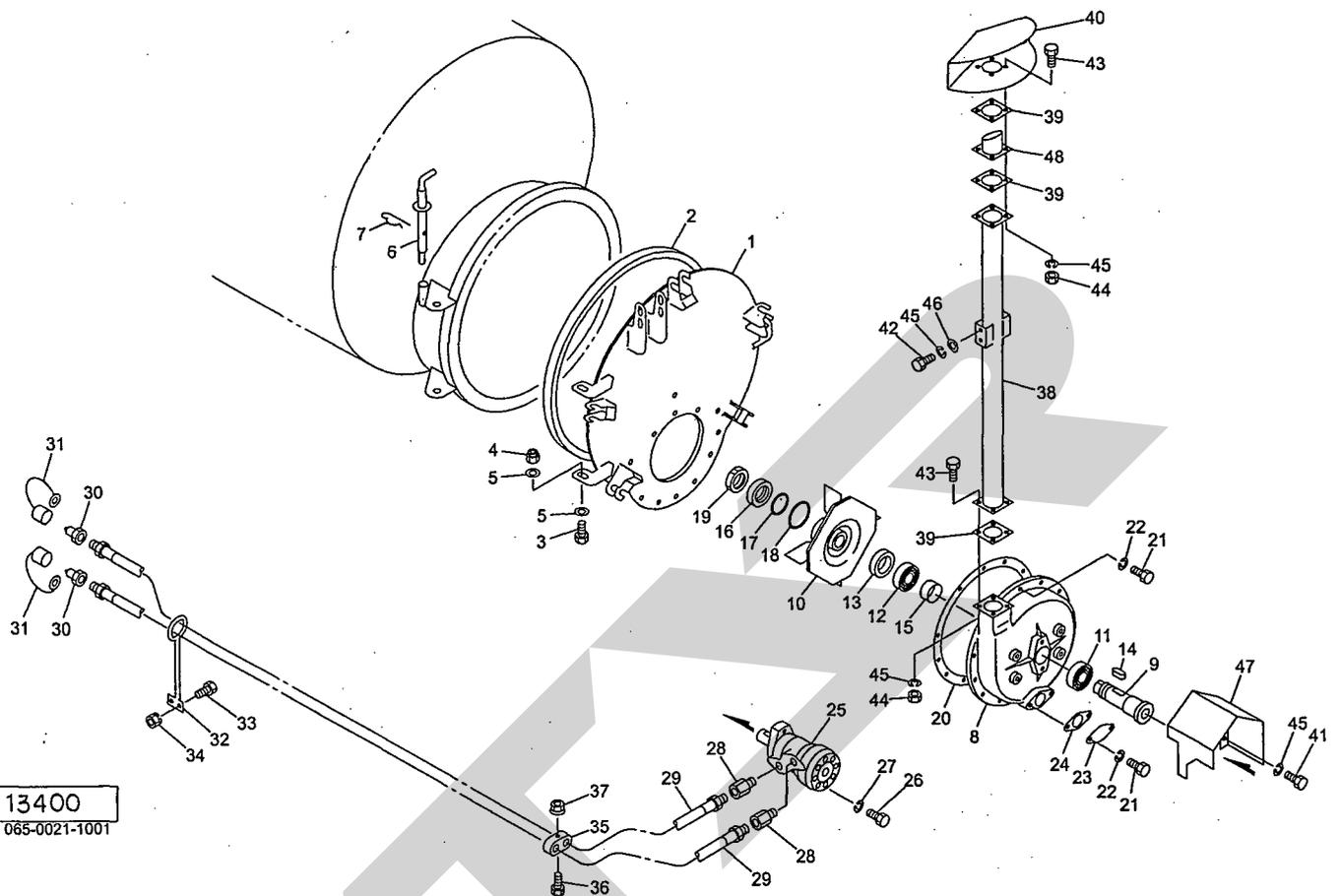
13399

"A"詳細

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
2	112947000M	プレート	1	
3	115415000M	プレート	1	
4	BC10025	ボルト ステン M10×25	8	
5	NS10	ナット ステン 1シュ M10	8	
6	WRS10	ヒラザガネ ステン M10	10	
7	WSS10	バネザガネ ステン 2ゴウ M10	8	
8	115033000M	ハッチガイド	1	
9	125038000M	パイプCP	1	
10	125042000M	ロッド	3	
11	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	1	
12	NSP10	コガタスパックナット 4 M10	1	
13	NZ12	ナット 8 2シュ M12	6	
14	115103000M	ストレーナCP	1	
15	073037100M	ゲージCP	1	
16	112945000M	アームCP	1	
17	0646580000	ビニールチューブ	1	
18	0586541000	ゴムチューブ	1	
19	0586562000	ゲージフロート	1	
20	0642300000	ワイヤクランプ; 2 3	2	
21	NZ12	ナット 8 2シュ M12	1	
22	PS050020	スプリングピン; 5×20	1	
23	112948000M	ハシゴCP	1	
24	BSZ10030	コガタボルト 7 M10×30	4	
25	NSP10	コガタスパックナット 4 M10	4	
26	058593100M	フックボルト	6	

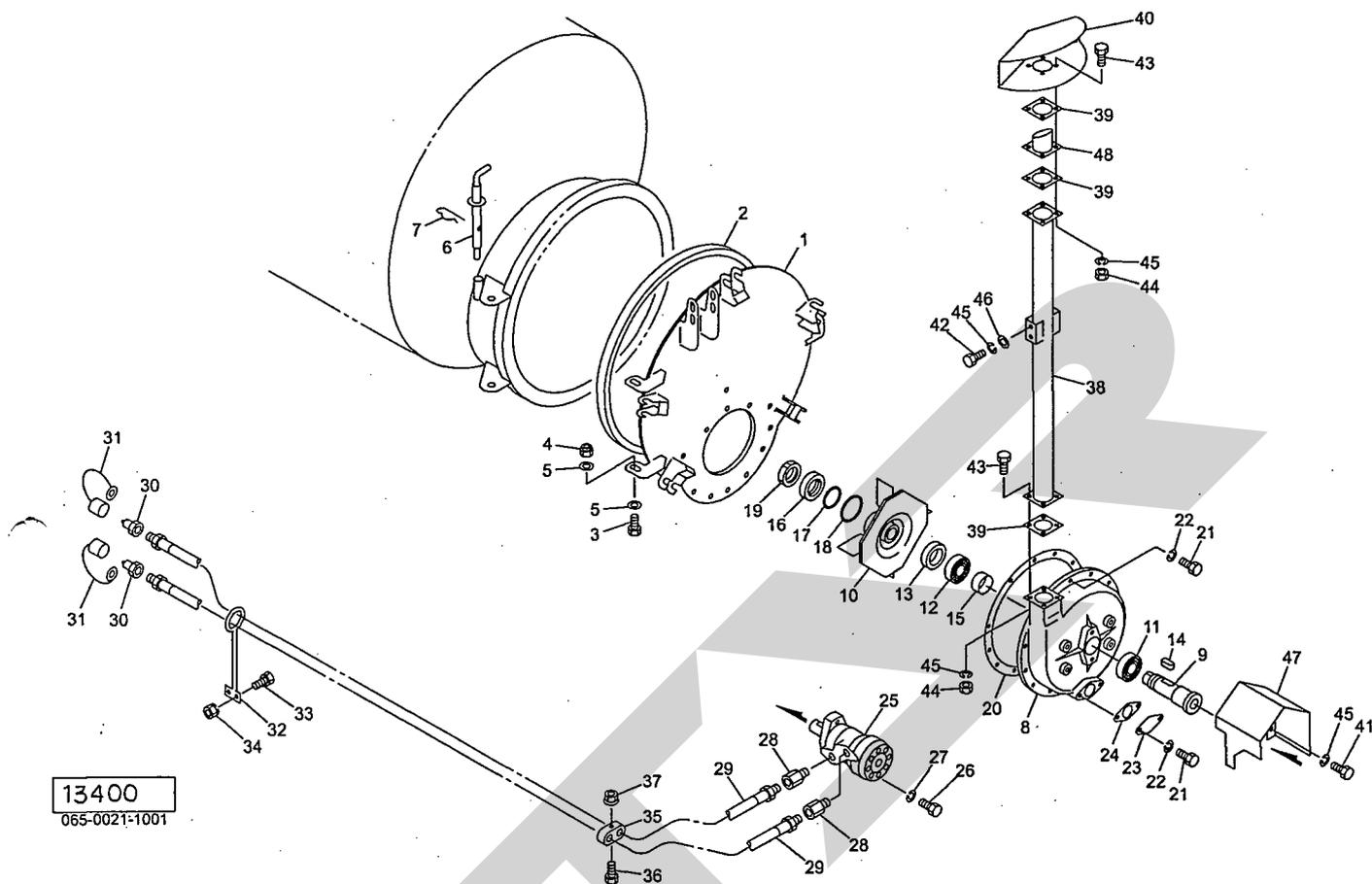


TSD12010 スラリースプレッダ  
ハッチ・ブローワ・ユアツ・サンプ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	115038000M	カガミCP; 950	1	
2	0587580000	パッキン; 950	1	
3	BZ20060	ボルト 8.8 M20×60	2	
4	NN20	ナイロンナット M20	2	
5	WRA20	ヒラザガネ M20	4	
6	064143500M	レバーCP	1	
7	000088100M	ベータピン; 19×3	1	
8	1150400004	ケーシング	1	
9	1150410002	シャフト	1	
10	1150420004	インペラCP	1	
11	J6010	ボールベアリング 6010	1	
12	J6210	ボールベアリング 6210	1	
13	QLF609010170	ジクツキシール; QLF60901017	1	
14	KFC12080450	ヘイコウキー リョウマル 12×8×45	1	
15	1154320002	カラー; 50.5×19	1	
16	115043000M	プレート	1	
17	ORG045	Oリング G-45	1	
18	ORG055	Oリング G-55	1	
19	046266200M	カシメロックナット; M45×1.5	1	
20	1150440000	パッキン	1	
21	BC10025	ボルト ステン M10×25	14	
22	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	14	
23	115799000M	プレート	1	
24	1158000000	パッキン	1	
25	1150490000	ユアツモータ	1	

TSD12010 スラリースプレッダ  
ハッチ・フロー・ユアツ・サンプ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	BZ12045	ボルト 8.8 M12×45	2	
27	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
28	1068-08	PFブッシング; PF1/2×PT1/2	2	
29	KH0808000AB	ユアツホース 1/2×8000 1-S1	2	
30	CLF40M	カプラ オス PT1/2	2	
31	0007781000	カプラキャップ; 1/2	2	
32	087024100M	ホースサポートCP	1	
33	BSZ10035	コガタボルト 7 M10×35	2	
34	NSP10	コガタスパックナット 4 M10	2	
35	LNG41818	ホースクランプ LNG4-18/18	2	
36	BZ06045	ボルト 8.8 M6×45	2	
37	NNF06	フランジナイロンナット M6	2	
38	115051100M	パイプCP	1	
39	1150520000	パッキン	3	
40	115053000M	サンプCP	1	
41	BC10025	ボルト ステン M10×25	4	
42	BC10035	ボルト ステン M10×35	4	
43	BC10040	ボルト ステン M10×40	8	
44	NS10	ナット ステン 1シュ M10	8	
45	WSS10	バネザガネ ステン 2ゴウ M10	16	
46	0822960000	ワッシヤ; 10	4	
47	1158330000	カバー	1	
48	121044000M	パイプCP	1	

調 整

S-010511C

本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-26-1123  
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-22-5131  
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番35号  
TEL 0166-61-6131  
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地  
TEL 0162-82-1932  
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地  
TEL 0155-37-3080  
FAX 0155-37-5187

北見営業所 090-0001 北見市小泉302  
TEL 0157-24-3880  
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2  
TEL 01537-2-2624  
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1  
TEL 0198-26-5741  
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号  
TEL 022-367-4573  
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1  
TEL 0285-49-1500  
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191  
TEL 0587-93-6888  
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笹賀5824-5  
TEL 0263-26-5731  
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103  
TEL 086-243-1147  
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号  
TEL 096-381-7222  
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1  
TEL 0986-38-1045  
FAX 0986-38-4644